

# こうふ町 議会だより

## 実り多き秋 コンバインの操作に力が入る!



**決算認定** .....2P~10P

補正予算ほか .....10P~13P

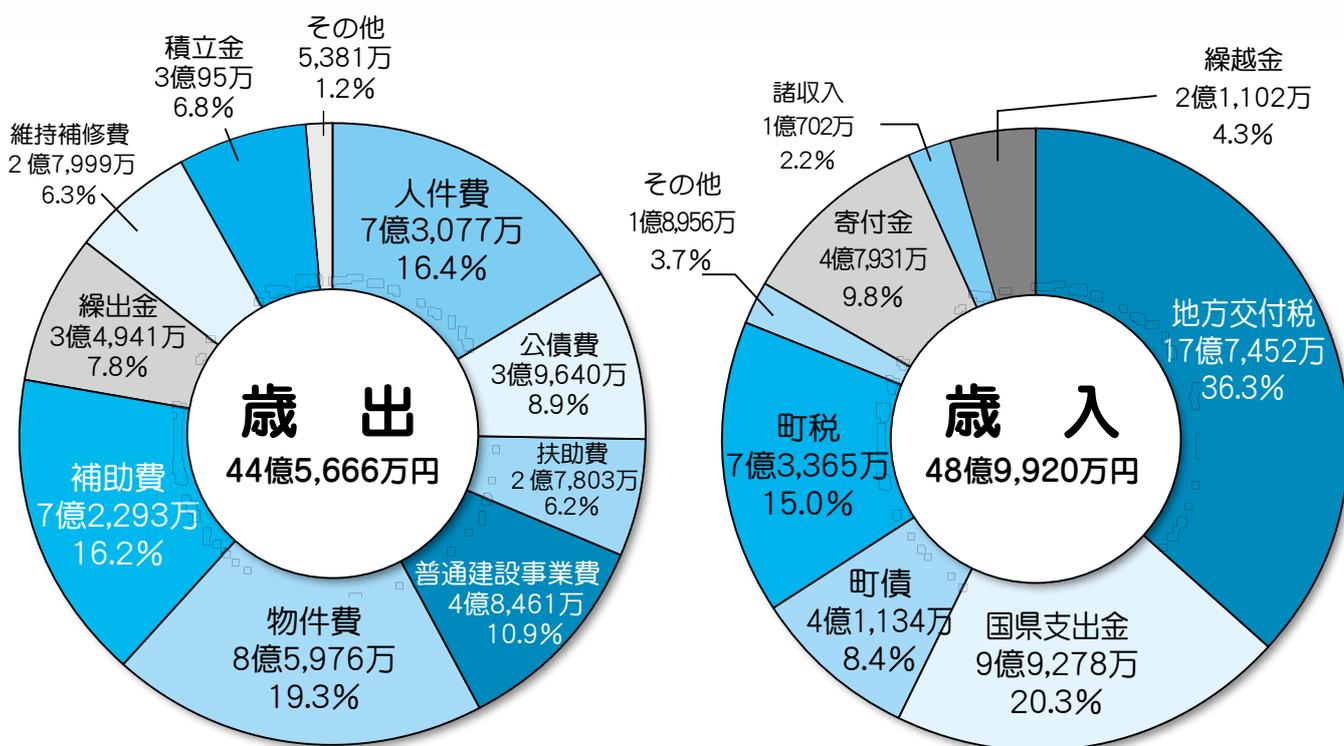
一般質問 .....14P~15P

議会のことをわかりやすくお伝えします

# 歳入歳出決算を認定

令和4年度9月定例会は12日招集され、会期を28日までの17日間として開かれました。今回の定例会は令和3年度一般会計と11の特別会計、2の公営企業会計の決算・令和3年度補正予算等提出議案33を審議し、すべて原案通り可決しました。なお、本会議初日に令和3年度決算に係る財政の健全化判断比率及び、公営企業会計の資金不足比率について下記の通り報告がなされました。

## 一般会計



### 令和3年度財政の健全化判断比率

比率名	令和3年度 (%)	早期健全化基準 (%)
実質赤字比率	—	15.0
連結実質赤字比率	—	20.0
実質公債費比率	13.5	25.0
将来負担比率	81.1	350.0

### 令和3年度公営企業会計資金不足比率

会計名	令和3年度 (%)	経営健全化基準 (%)
簡易水道事業	—	20.0
下水道等事業	—	20.0
索道事業	—	20.0

# 昨年度の主な事業

## 運動公園管理費

総合体育館、総合グラウンドの照明器具すべてのLED化及び改修等を行いました。

93,298千円

## 総合健康福祉センター管理運営費

非常用電源を確保のため、発電設備を整備。照明のLED化により、施設内環境や節電のための整備を行いました。

93,012千円

## 町営交通対策費

地域住民の通勤や通学、通院、買い物等の生活路線として、町営バス6路線・町営タクシー4台の運行をしました。

82,585千円



## 観光費

町観光協会の運営補助金の他、奥大山エリアの再生を目指し、富良野自然塾・木谷沢溪流モニターツアー・エーデルワイス解体工事等実施しました。

54,990千円

## 子育て世帯への臨時特別給付事業

新型コロナウイルス感染拡大の長期化により所得の減少など様々な影響がある中、0歳から高校3年生までの子育て世帯に対し一人10万円の給付をしました。対象者は266人でした。

28,728千円

## 農業再生協議会補助事業

水稻次期作応援交付金として、令和3年作付面積20a以上の農家に対し、自家消費分を除き10aあたり10,000円を交付しました。

26,514千円



## 燃料価格高騰対策支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響による燃料費高騰に対する生活支援として各世帯に給油等助成券を配布しました。

10,389千円

## 義務教育学校設置事業

令和4年4月の義務教育学校開校に向けて必要な整備を実施しました。

6,554千円



## DX<sup>※</sup>推進事業

高齢者世帯等のスマートフォン取得費用を支援及び遠隔での江府中学校吹奏楽部へプロによる指導を実施しました。

953千円



※DXとは：デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくこと。(総務省より)

# 特別会計・公営企業会計の状況

特別会計	歳入	歳出	収支	繰入金
住宅新築資金貸付事業	643万円	0	643万円	0
国民健康保険（事業勘定）	3億4,368万円	3億3,902万円	466万円	2,375万円
国民健康保険（施設勘定）	2億8,422万円	2億5,460万円	2,962万円	6,266万円
介護保険事業（保険事業勘定）	6億6,817万円	5億8,852万円	7,965万円	9,791万円
介護保険事業（サービス事業勘定）	295万円	276万円	19万円	0
介護老人保健施設	6,639万円	6,639万円	0	5,819万円
後期高齢者医療	4,787万円	4,684万円	103万円	1,564万円
索道事業	2,351万円	2,351万円	0	2,351万円
江尾財産区	257万円	42万円	215万円	0
神奈川財産区	89万円	31万円	58万円	0
米沢財産区	155万円	74万円	81万円	0
<b>合計</b>	<b>14億4,823万円</b>	<b>13億2,311万円</b>	<b>1億2,512万円</b>	<b>2億8,166万円</b>

公営企業会計	収入	支出	収支
簡易水道事業			
収益的収入及び支出	7,725万円	1億1,009万円	△3,284万円
資本的収入及び支出	9,012万円	1億2,045万円	△3,033万円
下水道等事業			
収益的収入及び支出	1億6,646万円	1億8,878万円	△2,232万円
資本的収入及び支出	1億3,422万円	1億6,836万円	△3,414万円

## 令和4年度江府町議会8月臨時会（審議結果）

臨時議会が招集され、提案された議案について、いずれも原案通り可決されました。

### 8月2日 第5回臨時会

#### ・令和4年度鳥取県日野郡江府町一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ49,931千円を追加し、歳入歳出の総額を4,146,798千円としました。

<b>主な内容</b>	マイナンバーカード普及促進事業	49,945千円
	電動自転車購入及びサイクルガイド要請補助金	2,182千円
	富良野自然塾開催事業	685千円
	奥大山周辺環境整備事業	2,900千円
	木谷沢溪流遊歩道整備事業	△3,982千円
	Wi-Fi環境整備補助金	898千円
	ふるさと応援基金積立金	△3,300千円

## 令和3年度 江府町歳入歳出決算審査意見書



岡田雄成代表監査委員

## 審査の対象及び期間

令和3年度におけるすべての会計について、令和4年7月26日から令和4年8月22日の間、2名の監査委員により決算書・同主要施策の成果と事業実績・財産に関する調書等について予算の執行状況、事業の内容と適合性、財務の健全性、資産の管理状況等について関係帳簿、証拠書類を検証して監査を実施しました。以下に審査の総括と留意事項を要約して、お知らせします。

## 総括

(1) 令和3年度の一般会計決算状況をみると、歳入総額4,899,204千円。歳出総額4,456,665千円で歳入歳出差引額442,539千円であり、この内86,186千円が繰越明許費繰越額で、実質収支額は356,353千円となっています。歳出をみますと、物件費、扶助費、投資・出資及び貸付金、積立金等が増加したものの、補助費、建設事業費等が減少し、前年対比257,866千円の減であり、5.5%の減少率となっています。これに対する歳入は地方交付税、寄付金、繰越金、諸収入等が増加しましたが、国庫支出金、繰入金、町債等が減少し、前年対比25,722千円減少し0.5%の減少率となっています。令和3年度の地方交付税は、総額1,774,518千円で、前年対比244,518千円増加しました。また、これの算定基礎となります令和3年度基準財政需要額は、2,069,427千円で、前年対比180,542千円増加しています。基準財政収入額の算定基準である町税は733,655千円で、前年対比31,091千円増えています。また、令和3年度の固定資産税は、全体で592,417千円でしたが、次第に減少し、5年後には569,183千円となり令和3年度に比べ23,234千円減となる見込みです。

(2) 令和3年度の経常収支比率は前年度比5.2ポイント減少し80.9%になりました。令和3年度の実質公債費比率（3ヶ年平均）は13.5%（早期健全化基準25%以下）でこれも前年度より0.1ポイント減少しています。将来の財政を圧迫する可能性の度合いを示す令和3年度の将来負担比率は81.1%（早期健全化基準350%以下）で、これも前年度より13.4ポイント減少しています。財政状況の指標は全て基準値以内ですが、令和6年度からの新庁舎建設等の起債償還やロシアのウクライナ侵攻を受けて物価の高騰、更には円安でエネルギーや食料品等が値上がりしています。また、我が国の長期債務残高は令和3年度末時点で初めて1千兆円を超えました。これらの将来不安を考えると、今後においても計画的な事業展開とともに、更なる将来負担の抑制に努めるべきです。

(3) ふるさと納税が飛躍的に伸びています。令和2年度の寄付額134,819千円に対し令和3年度寄付額は480,147千円（前年度比+356.1%）でした。この寄付額を集めるために184,705千円の経費（経費率38%）を支出しています。そして、その差額295,442千円が町の基金となり、その内の180,000千円が各科目に充当され予算が編成されています。

(4) 県内では、オミクロン株「BA.5」ウイルスの置き換えによる感染が拡大しています。全県にわたり高齢者や医療、福祉施設での感染が相次ぎ、入院患者数が増加して病床使用率が上昇しています。この状況を打開するには、やはりワクチン接種を万全にし、基本的な感染対策を徹底しなければなりません。町民の生活の安全・安心の確保を目指して努力することを要望します。

## 留意事項

- (1) 町税、国民健康保険税、上下水道料等の未収金について、公平性を図りながら徴収に努力する事を望みます。
- (2) 奥大山周辺施設の活用計画を活かしたまちづくりに期待しています。周辺施設のひとつ、木谷沢溪流の自然散策は、木谷沢溪流ツアーによって次第に広まりつつありますが、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着けば、木谷沢溪流の更なるPRを要望します。
- (3) ふるさと納税は、令和2年度から令和3年度にかけて寄付額が480,147千円となり、県内第1位の伸び率で、町の自主財源となっています。これを活用して江府町の自然景観等の魅力を更に伝え、これからも大きく躍進していくことを期待します。

# 決算の審査

## 一般会計

### 総務課

**Q** 御机の林道城山線について、なぜ、ここだけ町が管理しているのか。

**A** NHKが無線中継所の管理道路として使用していましたが、無線中継所の建物と共に、昭和54年に町が譲り受けました（建物については、平成2年から鳥取県に賃貸しているため、使用者収入があります。また、防災無線塔設置のため、使用者として県が道路を舗装）万が一災害があった場合、林道災害として町が対応します。

**Q** 旧大河原分校は借地ではないのか。

**A** 昭和58年に学校用地として購入しています。

**Q** 令和3年度の町公式ユーチューブ作成本数が51本であり、良々やっているという意見もあるが、専従で製作しているわりには少ないと思うが。

**A** 撮りたいものは幾らでもあるが、編集作業が大変であり、51本となっています。今年5月から2名体制となり、増加すると思います。

**Q** ユーチューブの登録者が195名増となっているが、全部で何人か。

**A** 登録者は令和3年4月1日開設時点で128人でしたが、令和4年9月16日現在で、395人です。

**Q** ふるさと納税返礼品のうち町内の物品取扱いの割合はどのくらいか。さらに、増やすことを検討されたい。

**A** 返礼品は町内と町外がおおむね5割ずつとなっています。今後返礼品を検討するときに参考にします。

**Q** 消防団の新人団員はあ

**A** 第一分団2名、第二分団1名の入団がありました。

### 教育委員会

**Q** 町図書館を今年リニューアルするが、職員と行政のミスマッチがないようにコミュニケーションを取って、たのしい職場にしてほしい。

**A** 職員や協力隊を含め新しい体制ができました。働き甲斐のある職場にしていきます。

**Q** ふるさと納税を頂いた人に対しての、「応援団の集い」として何名の方が来町するの

**A** 9月18・19日に東京、千葉から5名の方が来町予定でしたが、台風接近

のため中止となりました。

**Q** 江府中学校のクラブ活動において、国では地域移行が進んでいるが、進めるべきだと思

**A** 現在、ソフトテニス、卓球、野球、吹奏楽の4つの部があり、それぞれの部は、指導者の下、活動しています。今後、地域移行による指導者については地域及び、西部一円で研究して広い地域でやっていくことも検討していかねばなりません。



リニューアルされた図書館

## 産業建設課

**Q** 現在、玄そばの在庫が多いようだが状況はどうか。

また、町民に貸し出すことのできる、そばの製粉機の状況はどうか。

※玄そばとは……結実し収穫されたままの殻つきのそばの皮のことを指します。黒い殻(外皮)をかぶったままのそばの皮のことを「玄」とは「黒色」という意味の言葉です。

**A** 令和3年度は栽培面積が40ヘクタールで令和4年8月末現在、在庫は全て無くなりました。製粉機は御机集落に貸し出しており、新年度予算で製粉機購入を検討します。

**Q** 次期作支援交付金は農家として非常にありがたかった。今年度も米価下落の出口が見えないが、

**Q** 次期作支援交付金は農家として非常にありがたかった。今年度も米価下落の出口が見えないが、

次期作支援交付金を出す考えはあるのか。

**A** 次期作支援交付金はあくまでも単年度で考えられており、現段階では、考えていません。

**Q** 江府町チャレンジ支援補助金の交付状況はどうか。

**A** 新規起業1件と経営改善3件でした。補助金は最高30万円で補助割合は2分の1でしたが令和4年度から最高で3分の2の補助割合になりました。

**Q** 町が募集していた、土木技師は採用できたか。

**A** 採用できていません。危機感があります。職員の土木技師資格の取得や、派遣の採用などを考えています。

## 住民生活課

**Q** 中学校の部活終了後、バスがない時にタクシーを利用してもらっているが、何名の方が利用しているか。

**A** 年間合計1,457名を送迎しています。これは部活だけでなく、土曜日、日曜日の運動会などの行事も含んでいます。また、バスの定期券を持っておられる方の負担はありません。

合せ等の状況はどの程度か。また、保守点検は実施しているか。

**A** 問い合わせの状況は、お試し住宅関連71件、移住定住相談71件、空き家見学26件、などとなっています。いずれにしてもコロナウイルスの関係で動きは低調でした。「みらい家」の保守点検は「NPO法人こうふのたより」と住民生活課により実施されています。



お試し住宅 みらい家



刈りとりをまつそば畑

# 特別会計

## 国民健康保険（事業勘定）

**Q** 今後の保険料はどうなっていくのか。

**A** 自営業者が減少しています。資産割をなくしましたが、医療費の動向により変動します。

**Q** 県全体での保険料統一化の進捗はどうか。

**A** 県全体での保険料は、令和6年度を目標に検討中です。

## 国民健康保険（施設勘定）

**Q** 会計年度職員の内訳は。

**A** 歯科が7名、医科が10名です。

**Q** 以前にくらべ待ち時間が短縮されてきた。工夫していることは。

**A** 受診前の問診を、看護師が早く聞くようになっています。

## 介護保険事業（事業勘定）

**Q** 介護予防事業の成果として、介護人数の減少が目標になるのではないか。

**A** 在宅介護の推進を目指し、介護人数の減少が目標です。結果として認定率や介護料が増えることもあります。

## 介護老人保健施設

**Q** あやめの決算書の提出は。

**A** 運営協議会から報告します。



あやめ秋の大運動会

## 索道事業

**Q** 奥大山スキー場のリフト活用の結論を出す時期ではないか。

**A** 環境省の事務所から、廃止すると現況に帰するよう説明があり、もつしばらくの期間が必要です。

## 江尾財産区

**Q** 利用間伐協力金の内容は。

**A** 森林組合から間伐事業の赤字分の補填がありました。

# 公営企業会計

## 下水道等事業

**Q** 川筋地区の集落排水施設の監視盤の腐食がみられる。監視盤をステンレス盤への変更を検討しては。

**A** 順次実施するように検討していきます。

## 簡易水道事業

**Q** 水道料金を安く提供

していることを町民に知らせて、無駄のない活用を呼びかけては。

**A** 料金のPRはあまりしていないので、料金変更に伴い実施していきます。

**Q** 老朽化による水道管の水漏れ箇所は、修繕を推進すべきでは。

**A** 修繕による有収水量のアップは、経費と比較しながら実施していきます。



改良中の大河原簡易水道

# 決算特別委員会 参考意見 一般会計

## 総務課

① 福利厚生において、ストレスチェックを受けた職員は85名であり、これは全職員の約半数である。すべての職員が受診するよう努められたい。

② 新庁舎玄関前の横断歩道については、交通安全推進規範の起点としての姿を顕示されたい。

③ ふるさと納税の返礼品は地元天然水が人気であるが、品物に加え体験事業など「事」を取り入れた事業展開も考慮されたい。

④ 役場の職員で構成する消防第2分団は、団員20名中7名が町外在住である。いかなる有事の際にも万全の対応がとれるよう、的確なシステムを構築されたい。また団員の募集や勧誘についても鋭意進められたい。

## 農業委員会

① 集積意向調査において、集落営農の必要性が高まっ

ている。新規の組織作りと事業の維持継続に努力されたい。

## 産業建設課

① 令和3年度の梨（新甘泉）の栽培は、概ね順調であった。収穫量は前年比8.3%増の2.4トンであり売上高においては21.7%増の185万円であった。引き続き収量増を期待すると共に、町特産品の一つとなるよう努力されたい。

② もち米やそばを自家栽培する町民のために、乾燥や製粉の出来る設備を整え、少量生産者の営農意欲に配慮されたい。

③ 農業再生協議会補助事業において、水稲次期作応援交付金を他町にさきがけ実施した。これにより、次年度における就農意欲は向上した。まずもって評価するところであるが、将来不安の解消の為、事業継続を望むものである。

④ 下安井から舟場間の道路建設は、地元集落の永年の念願であり、災害時に於いては住民の安心安全に大いに貢献するものである。関係町と協議して早期の事業化を実現されたい。

## 住民生活課

① 町営交通対策として、バス6路線タクシー4台を運行している。懸念材料として利用者数の減少がある。人口の自然減を差し引く必要はあるが、バス利用者は前年比一割減である。タクシーの運用と合わせ、児童生徒への更なる利便性への対応や、一般生活者への利用啓発など特段の努力を望みたい。

② 移住定住促進及び空き家活用事業において、増加する空き家について空き家バンクへの登録や、その他の利活用を促進し移住定住に寄与している。特にお試し住宅の「みらい家」は移住促進に多大な効果を有すると思われるが、コロナ禍もあり利用件数は少ない。利用増に向け一層の努力をされたい。

③ 母子父子福祉事業に関しては、ひとり親支援や虐待対応など、関係機関と連携を取り支援を進めている。本事業により虐待事象などの早期発見予防につながる、児童が安心して生活できることは、明るい町の礎となる。地道ではあるが、

## 教育委員会

① 幼児及び児童を抱える家族から要望の多い土曜、日曜の保育園、園庭の開放について諸所の課題もあると予想されるが、人口問題にも関わることであるので、早急に対処されたい。

② 学校情報通信技術環境整備事業においてICT環境の整備は重点項目である。教科書のデジタル化など教育環境の変化は目覚ましく児童生徒、職員の負荷は相当と考えるが、時代の趨勢として特段の努力を望みたい。また、相反する事象として書籍や新聞を目にする割合と学力テストの正答率が、比例するとの評価もあり、均等の取れた学習環境を両立されたい。



タブレットを活用した授業状況

令和3年度一般会計は歳出が、44億5,666万円であり、前年比で5.5%減少している。歳入は、48億9,920万円で、0.5%の減少となっている。令和3年度決算における実質公債費比率は13.5%となり、令和2年度より0.1%減少し、早期健全化基準とされる25%をかなり下回っている。人口減少時代における安心安全の町づくりに向け、福祉や防災対策における投資は十分可能であるが、経常収支比率は、80.9%で前年より、5.2%減少したとはいえ、引き続き財政の硬直化を示している。将来の大型事業を見据え、確かな財政運営に努力されたい。また、ふるさと納税が飛躍的に伸びており、令和3年度の寄付額は、約4億8,000万円で伸び率は県内で第一位である。このことは、担当課をはじめ全職員、全町民の熱意の賜物である。今後においても、従前に増して一層真摯に、本事業に取り組まれたい。

# 決算特別委員会 参考意見 特別会計

## 住宅新築資金等 貸付事業

①貸付事業は既に終了しているが、滞納事務の一元化を図り、完納に努力されたい。

## 国民健康保険 (事業勘定)

①年度末の被保険者数は、517人と減少している。保険料は、令和6年度を目標に検討されている。一番関心の高い事であり、早期に方針を示すよう努力されたい。

②健診率の向上と特定保健指導の充実により、医療費の抑制に努められたい。

## 国民健康保険 (施設勘定)

①江尾診療所は、診療サービスへの向上に努力している。さらなるサービスの向上と在宅診療の推進や持続

可能な施設として、スタッフの育成・確保に努められたい。

## 介護保険事業 (保険事業勘定)

①高齢化率は上昇しているが、介護認定率および必要とするサービスの適切な提供とともに、今後もフレイル予防の実施・啓発の推進に努められたい。

## 索道事業会計

①奥大山自然塾事業が本格的に開始されるが、この事業に合わせた索道事業の活用等を研究されるよう努力されたい。

## 簡易水道事業会計

①水道は、安価な利用料で提供しているが、そうしたことをもって町民に周知し、大切な資源を無駄なく有効利用されるよう努められたい。

## 下水道事業会計

②今後、施設の老朽化に伴う改修が必要となってくる。持続可能な施設管理に努められたい。

①今後、施設の老朽化が進んでくる。施設管理を徹底し、持続可能な管理体制を構築されたい。



舗装された俣野診療所

## 9月定例会 補正予算

今議会において一般会計（5号・6号）、特別会計、公営企業会計から13件の補正予算案が上程され、いずれも承認されました。

### ○一般会計補正予算（第5号）補正総額 7億8,070万円 予算総額 49億2,750万円

歳入（主なもの）	寄附金	ふるさと応援基金寄附金	5億円
	繰越金	前年度繰越金	3億3,030万円
歳出（主なもの）	総務費	PCR検査委託料	300万円
		ふるさと納税推進事業	2億5,000万円
		移住促進住宅等整備事業	3,293万円
	商工費	燃料高騰対策運送事業者支援金	1,000万円
		富良野自然塾事業	420万円

### ○一般会計補正予算（第6号）補正総額 5,580万円 予算総額 49億8,330万円

歳入（主なもの）	国庫支出金	新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金	907万円
		地方創生推進交付金	2,000万円
歳出（主なもの）		新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金	833万円
	総務費	SDGs関連イベント実施事業	503万円
		マイナンバー取得促進事業	436万円
	衛生費	新型コロナウイルスワクチン接種事業費	1,740万円
	農林水産業費	肥料価格高騰対策事業	300万円
商工費	富良野自然塾開設準備事業	880万円	

陳情の 審査結果	受理番号及び 受理年月日	件名及び要旨	提出者及び紹介議員	審議結果
令和4年 第6回江府町議会 9月定例会提出	陳情第9号 令和4年 6月6日	中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情	兵庫県伊丹市北伊丹1-75 井田 敏美	不採択
	陳情第10号 令和4年 8月9日	地方財政の充実・強化を求める陳情	鳥取市南町505 自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 江府町大字江尾1717番地1 江府町職員労働組合 執行委員長 田本 丈一	採 択

## 日野病院組合議会報告書

令和4年8月29日、日野病院組合議会定例会が日野町で行われ、令和3年度事業等の決算等について報告がありました。

### 【総括的事項】

病院事業は、高齢化率の高い中山間地における中核病院として、CT・MRIなどの診療機器等を備え、特に、令和3年10月より最新型になったMRI装置を使用し、全身のがん検査が可能になっています。病気の早期発見・早期治療に役立つよう脳ドックも含め、住民にPRしていきます。

令和3年度決算	※（ ）内は令和2年度数値	
・収益的収支	150,466千円	(118,446千円)
(内訳) 病院事業	132,184千円	(98,979千円)
在宅介護支援事業	10,079千円	(11,247千円)
診療所事業	8,203千円	(8,220千円)
・累積剰余金	793,722千円	(643,256千円)
(内訳) 病院事業	507,667千円	(375,483千円)
在宅介護支援事業	146,805千円	(136,726千円)
診療所事業	139,250千円	(131,047千円)

### ○自治体立優良病院表彰を受賞しました。

これは全国自治体病院開設者協議会及び公益社団法人全国自治体病院協議会が昭和61年度から実施しているもので、収支の均衡が図られ、地域医療の確保に重要な役割を果たしていること等が、評価されたものです。

## 日野町江府町日南町衛生施設組合議会報告書

令和4年8月25日、江府町において、第2回日野町江府町日南町衛生施設組合議会定例会が行われました。令和3年度決算については以下のとおりです。

歳入総額	1億8,849万円 (江府町負担分：7,022万円)
歳出総額	1億7,264万円
差引残額	1,585万円 差引残額については、令和4年度に繰越しとする。

# 日野郡議員研修を開催!

日野郡3町の議員で協議会をつくり、毎年議会の事務局が持ち回りで議員研修を開催しています。今年度は江府町の当番でした。

内容は、「放送こぼれ話」と題しまして鳥取県在住の元NHKアナウンサー、藤澤武氏による講演でした。23年間大相撲解説を務められた経験から、交流のあった力士や親方について、元舞の海と元寺尾の解説が今一番わかりやすいベストコンビであること、鳥取県出身の力士についての学生時代の様子、現状や今後について等、テレビ・ラジオではなかなか聞くことのできない、まさに「こぼれ話」をしていただきました。

また、元アナウンサーでもありますので、人前での話し方のコツについてポイントを示してくださいました。その一つに、「えー」や「あー」などを使って長々と話すのではなく、短いセンテンスで伝えることの重要性がありました。これは、仕事等に限らず常に意識しておくべきことであると、改めて認識をしたところです。

藤澤氏はNHKの夕方のニュース「いろどり」でも、大相撲の場所が始まる前に解説をされています。より一層親しみを込めて、番組を視聴することになりそうです。



## 政治倫理条例関係の報告

(政治倫理条例第5条により報告と掲載)

受付日	令和4年10月4日
企業名	旧江府町庁舎及び高齢者創作館解体工 かわばた・コーセン共同企業体
議員と企業との関係	代表取締役
契約の内容	旧江府町庁舎及び高齢者創作館解体工事
請負の方法	指名競争入札
契約金額	82,500,000円(消費税等込み)

受付日	令和4年10月4日
企業名	株式会社PPPプログレス江府2022 (構成企業に株式会社かわばた)
議員と企業との関係	代表取締役
契約の内容	江府町移住促進住宅の整備
請負の方法	公募型プロポーザル方式
契約金額	419,980,481円(消費税等込み)

## 「肥料・飼料価格高騰対策を求める意見書を提出」

本議会において肥料・飼料価格高騰対策について議員発議がなされ審議の結果可決されました。

提出の理由については、現在長引く原油価格の高騰や、ロシアのウクライナ侵攻、そして急激な円安による資材など的高騰が問題となっています。本町でも不安の声が聞かれ、農業分野を中心に多く利用する肥料・飼料価格の高騰が生産者の経営意欲を奪うことになり、離農者の増加が懸念されます。そのことにより、農地等の保全が困難となることが予想されるためです。意見書は次の通りです。

### 記

- 1.原油高騰対策の中で農林水産業の資材費・燃料費高騰対策を早急に講じられたい。直接的な国の財政支援を求める。
- 2.緊急対策の柱として、影響が大きい肥料・飼料高騰対策を関係機関やメーカーと連携して推進すること。また、肥料・飼料高騰時に対応するセーフティ・ネットの構築も検討すること。
- 3.農林水産業の高齢化や減少によって、地方が衰退しないよう「みどりの食料システム戦略」の強化を求める。

以上地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

(意見書提出先) 衆参両院議長 内閣総理大臣 財務大臣 農林水産大臣

## 加藤周二議員に対する問責決議

我々江府町議会議員は、町民から負託を受けた者として、その立場と職責の重さを深く自覚し、法令等を遵守し、高い倫理観をもって町政の発展と町民福祉の向上に努めることが求められている。このことを強く認識したうえで、常に町民の声、地域の意見等を傾聴し、尊重しつつ、町議会の構成員として責任のある行動をとる中で、町民が疑惑や不信を抱くような行為を断じて慎むことにより、公務に対する町民の信頼を確保しなければならない。しかしながら、加藤周二議員については、このたび、新型コロナウイルス感染に関わる個人情報流布、関連した差別的とも捉えられる発言を行った疑念が町民から寄せられている。互いの聞き取りの結果、正確な事実関係の証明については困難な状況ではあるが、議会審議以外の場でのこととはいえ、町民に対し、疑惑や不信感、不安を抱かせたことは、江府町議会としても重く受け止めるべきである。また、これまでも加藤周二議員には、同類の通告や相談が議会へも寄せられている。

よって、加藤周二議員に対し、猛省を促すとともにその責任を強く問うものである。また、今後議員としての発言の重さ、職責を深く認識し、高い倫理観と慎重な行動を強く求めるものである。

以上、江府町議会全体のこととしても捉え、下記事項を付して決議する。

- 一、江府町議会議員の責任のもと自らの身を厳しく律する。
- 一、町民に不信感と不安を与えたことについて、失った信頼回復に努める。

令和4年9月28日

鳥取県日野郡江府町議会

# 「自分の命は自分が守る」 そのための政策は

## ～防災対応の在り方と充実強化方法について～



森田 哲也

動画で一般質問



森田議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

### 消防団員の今後の確保計画は

**質問** 消防団は、地域防災力の要である。団員確保には、地域の理解が必要。活動に対する勤務先への支援制度や活動内容・時間を限定する分担制の導入など、新しい政策が必要では。

### 町長答弁

個人を強制的に勧誘することは無理がある。地域自体が、自分の事としてどう守るかを考えることだと思つ。今後は消防団退職者や消防署OBなどにも広く普及啓発を努めたい。



自主防災組織の充実を

### 自主防災組織の確立を

**質問** 消防庁の発表では、本町の自主防災組織率は100%とあったが、その実態は把握していないという。自助、共助を求めらるなら、自主防災組織は大変重要であると思うが。

### 町長答弁

火災や大きな災害時は、消防署などだけでは対応できない。やはり自主防災組織が必要と思つ。今後、集落に出向いて説明啓発し、個別避難計画作成と一緒に取り組んでいきたい。

### 住民の避難状況は適切か

**質問** 土砂災害は、想定外の場所を襲つ。県などの情報だけでなく、地域住民などの異常報告を活用する。また、今の旧村別の避難発令より、山間地など標高別の方が現実的では。

### 町長答弁

まず、地域で積極的に避難することを啓発し、避難指示の発令については、細かい地域別、旧村単位で出すことから始め、実際の状況を見ながら、標高別という提案も検討したい。

### 地域防災計画の認識度は

**質問** 地域防災計画に基づいた環境の整備は重要。しかし、補助事業等町民に十分に認識されているのか。町からの情報が一方通行になり、住民の認識度を把握できていないと思つが。

### 町長答弁

住民の皆さんによく理解して頂くことが大切だが、そのためには、それぞれの集落に出向いて、分かりやすく説明することが重要。地域防災力の向上を目指していきたいと思つ。

### 震災対策と減災予防は

**質問** 建物の耐震化は、普段多く利用する部屋など簡易な補強だけでも効果があるという。防災カーテンなどの日用品などにも助成することで、防災、減災の推進になると思つが。

### 町長答弁

耐震化の補助事業など分かりづらいつと思つ。やはり、集落ごとに出向いて説明をし、自衛消防力を高めていきたい。個人への耐震化等の町独自支援は、現在のところ考えていない。

### 安心安全確保は足元がしっかり見える政策を

**質問** 高齢者社会では、分かりやすい政策が必要。「自分の命は自分が守る」ためには、個人への支援事業は当然必要と考える。町民が安心して暮らせる防災、減災事業をお願いして質問を終わりたい。

# 公共施設の今後・ホームページの閲覧

## 遊具の新設整備は？



阿部 朝親

動画で一般質問



阿部議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

### 公共施設の今後

**質問** 今年3月に示された、公共施設の今後の管理について、現状を伺う。また、旧明倫小学校については、関係者と協議とあるが、関係者とは誰なのか、体育館も同時解体か、グラウンド・プールはどうされるかまた、代替えのコミュニティスペースを検討とあるが、検討されたか伺う。

**町長答弁** 現在保有の建物・施設の大規模改修・更新には、約200億円が必要と推計している。2046年までに30%

の削減を目指している。高齢者創作館・旧庁舎は、今年度解体する。旧明倫小学校については、令和2年12月に関係者として実際使用されている方と意見交換をし、その結果を踏まえ解体の方針としている。コミュニティスペースについては新たな建物の考えは無い。プールに関しては、近隣の方と協議をしていきたいと考えている。

**質問** ホームページの閲覧について

**質問** 防災無線で、ホームページをご覧下さいと言っているが、インターネットへは、

45%が未接続であり、閲覧できない方への情報提供はどの様にされているか伺う。

### 町長答弁

防災無線は、災害時よりもより、町の行政情報を知らせる有効な手段である。放送内容を簡潔にし、詳細をホームページ・チラシ・担当課への問い合わせと言った形で誘導しているが、ホームページをご覧下さいとだけ言っているのでは、申し訳なく、今後は、問い合わせは、電話でと申し添える。

### 遊具の新設整備は

**町長答弁** 県のホームページは私もとても見にくい。県に代わりお詫びしたい。コンタクトセンターについて不明な事は町の担当課に電話いただきたい。

**質問** 遊具の新設整備については、保護者からの要望もあり、前向きに検討すると回答をいただいている。議会広報にも保護者として要望がある。私たち議員は住民の声を行政に届ける義務があると考えており、再度質問をさせていただきます。

### 町長答弁

以前、質問に対し前向きにやると答弁をしている。議会広報での保護者の意見も承知している。今後保育園の事も有り、無駄な公共施設は作れないが、大方の方が満足できるも

の作っていききたい。

**質問** スピード感を持って取り組んでいただき、それまで保育園の園庭を解放されたと考えるが。

### 教育長答弁

現在すでに開放しているが、施設の利用については再度周知をしたいと考えている。

**質問** 子育て世帯すべてに周知していただく事をお願いし、質問を終わります。



子供の国保育園の遊具

# 私のひとこと



荒田 井上 尚子

## この町が教えてくれた大切なこと

**日** まぐるしく変化していく世の中に、順応していくことで精一杯だった毎日から離れて長く勤めた会社を退職し、第二の人生を始めようと辿り着いた江府町。

6月下旬の頃、お気に入りの場所から見る大山。周りにある畑や田んぼの景色が大山をより美しく引き立たせる。毎日見せる表情が同じとしないこと、その景色を見たいと思いついた足を運ぶ。切り取って見えた景色は私の気持ちを穏やかにさせてくれた。今まではこんな感情を抱く余裕すらなく毎日にただただ追われて、一日を乗り越えるだけの日々が続いていた。世の中はコロナ禍で当たり前のようにはできていたこ

とに制限をかけられ、これに順応していく。必要な事と必要でない事がはっきりと区別され、今はこれが当たり前だと変化していく。そのような中で生き方の多様性こそ、今の私に必要な事だと気づかされた。

江府町の生活では、今まで経験した事のないことは人に教えてもらう。種や苗を買って畑に植え、野菜の生長を手助けする為に畑の手入れをする。食べ頃になれば収穫し、草が生えたら草刈りをする等、なにもかも初めて体験することで幸せの濃度が深まり、生き方の選択肢が増えていく。

また、ご近所の方から旬の食材を頂くことで、コミュニケーションが生まれ人と人が助け合って生きている実感を得る。毎日の生活が新しい発見の連続である。生活のためには利便性こそが一番であると思いついてきたことに大きな間違いがあったことに気づいた。小さな町こそ人が温かい。そこに豊かな生き方のヒントを見つけたらこの町に感謝している。

## 行政視察研修の受け入れ！ (青森県六戸町議会から来町)

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたこともあり、令和4年10月20日に、青森県六戸町議会の行政視察研修を受け入れました。

研修内容は、①議会でのタブレット活用によるペーパーレス化への取組 ②義務教育学校についてです。  
①は、特別に江府町が先進地ということではありませんが、現在の会議や情報伝達での活用状況、苦勞・工夫をしていること、今後の機器更新等について等お話しさせていただきました。

②は、六戸町では令和7年に義務教育学校の開校を目指しておられ、校名・校歌・校章・制服等が決定された経緯や、授業も見学され、児童・生徒の様子についても熱心に視察されていました。

六戸町は人口1万人以上の町ですが、短い時間ながらも共通する課題等について、お互いに共感や情報交換が行えた貴重な研修となりました。



授業の様子を見学



9月議会定例会が、無事終わりました。本定例会は毎回前年度の決算審査が中心となります。町民の皆様の協力のもと、役場職員が十分とは言えない予算の執行に奮闘した結果です。審査は議会の各委員会に託され何日もかけて積極盛んに審議されます。令和3年度から新たに動き始めた事業も複数あります。住宅に関連したものの、環境に関連したもの、など4年度から5年度にかけて住民の皆様目の留まるようになると思います。自然と伝統文化を守りながらも変わりゆく江府町をしっかりと見届けていただきたいと思います。

川端 登志一

### 広報公聴常任委員会

委員長 三輪 英男  
副委員長 川端登志一  
委員 阿部 朝親  
菅立 喜男

加藤 周二